

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅲ		
担当者(Instructors)	渡辺 弥生	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本科目では卒業論文作成に向けて専門的な学びを深め、今まで学んだ知識を基礎とし、より内容を深め、個人の研究テーマに沿って研究計画書に沿って論文作成を行う。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	個人ワーク メディア授業2回予定 オンデマンド 適宜グループワーク

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	テーマの確認 論文作成の要領確認を行う。アンケート実施打ち合わせ	<input type="checkbox"/>
第2回	データ収集1	テーマに沿って文献やデータの収集を行う。各自調査活動を行う。	<input type="checkbox"/>
第3回	データ収集2	テーマに沿って文献やデータの収集を行う。 各自教員に報告を行い、確認しながら進める。	<input type="checkbox"/>
第4回	データ収集3 個別指導	テーマに沿って文献やデータの収集を行う。 各自が行うデータが適切に行えているか個別に相談、指導を行う。	<input type="checkbox"/>
第5回	データ分析1	各自目標に沿って進める。データをコーディングしエクセル入力など進めていく。全体に指導する。	<input type="checkbox"/>
第6回	データ分析2	各自目標に沿って進める。データをコーディングしエクセル入力など進めていく。	<input type="checkbox"/>
第7回	データ分析3 個別指導	データを整理し、データの入力状況、分析方法の検討など行う。 個別指導を行う。	<input type="checkbox"/>
第8回	表やグラフの作成 1	分析結果を表やグラフにする。個別指導を行う。	<input type="checkbox"/>
第9回	表やグラフの作成 2	分析結果から表やグラフを作成する。	<input type="checkbox"/>
第10回	論文の作成 1 まとめ方の検討	得られた結果からどうまとめていくのか全体指導する。	<input type="checkbox"/>
第11回	論文の作成 2	専門IIで準備した(はじめに、文献検討など)を参考に序論を作成する。取り扱ったテーマの意義、目的を明確にする。	<input type="checkbox"/>
第12回	論文の作成 3 個別指導	本論を作成する。研究方法・結果・考察を記述する。各自の進度に合わせ、個別相談・指導を行う。	<input type="checkbox"/>
第13回	論文の作成 4	結論 謝辞 文献リストなど論文のまとめを行う。各自の進度に合わせ相談・指導を行う。	<input type="checkbox"/>
第14回	ゼミ内発表	互いの内容について発表、意見交換する。	<input type="checkbox"/>
第15回	論文の作成 5 個別指導	前回の発表から、修正を行い、全体を通して記述の内容を確認する。 適宜修正する。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

・毎回のテーマをみて計画的に進める。各回の内容は事前2時間、事後2時間程度の図書館または家庭でのまとめが必要である。 ・毎回必要に応じて担当教員の指示を受ける。また内容の確認のためメールもしくは研究室にて個別に指導を受ける。

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

各回個別に相談を受ける。授業時間外であっても適宜個別指導を行い主体的に学ぶ。毎回進行状況の確認を行い、積極的に活動できているか

確認していく。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	研究テーマを決めて論文に取り組むことができる。また教員との関わりから質問力や自らの回答を導くことができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			10%	90%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

専門演習Ⅲでは、修正が必要な内容であっても一連の論文の体裁を整え、提出し、評価する。評価の視点は下記内容とする。1. はじめには文献の活用をしテーマを抽出し、テーマの意義・目的が記述されているか 2. (1) 本文は研究の方法がわかりやすく示され、それによってデータを収集できているか (2) 結果はわかりやすく示されているか (3) 得られた結果から考えられることを文献を用い自分の考えを客観的に述べているか3. 論文の体裁は整えられているか4. 時間を有効に使い積極的に取り組むことができたか

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	各自文献を検索し、準備する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜提示する	
2		
3		
4		
5		